

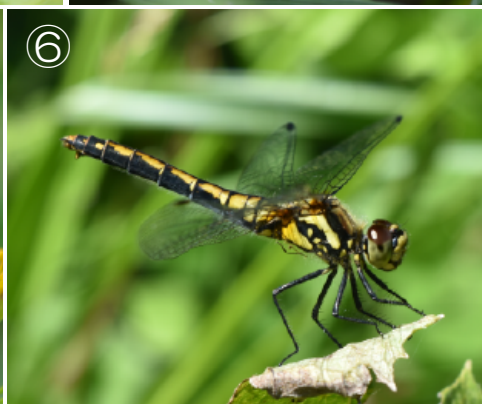
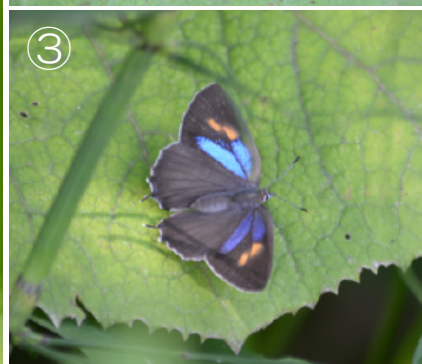
2020年8月号

8月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 287



昆虫たちのうたげ…

お盆が近づくと晴天続きとなって、急激に気温が上がりました。
こうなると活気づくのが昆虫たち。ここぞとばかりに動き回り始めます。
今年はチョウの仲間が元気なようで、色とりどりの模様をまとったチョウが
夏の温根内を飛び交います。「ブーン…!」とひと際大きな羽音が聞こえて
振り返ってみると、光沢の美しいアオカナブンでした。

☆☆☆温根内ビジターセンター周辺の自然情報☆☆☆



～温根内ビジターセンター周辺の自然～



【モウセンゴケ】
モウセンゴケ科 毛氈苔
晴れた日の昼間に、ミズゴケ湿原でひっそりと咲きます。茎を下にたどっていくと、虫を捕らえる腺毛の見える葉があります。



【トウヌマゼリ】
セリ科 唐沼芹
ドクゼリよりもやや遅れて咲く大型のセリの仲間です。茎を触ると、断面が六角形をしているのもドクゼリとの違いのひとつです。



【シナノキ】
アオイ科 科の木
7月下旬に一齐に花を咲かせ、鶴居軌道沿いでいい香りを楽しめました。既に結実し始め、実は秋まで枝に残っています。



【ハッカ】
シソ科 薄荷
こちらがかぐわしい匂いを放つ、ハーブとしてはおなじみの植物です。地下茎を伸ばして生育範囲を徐々に広がっています。



【エゾイトトンボ】
イトトンボ科 蝦夷系蜻蛉
よく見るキタイトトンボに似ていますが、こちらはより鮮やかな青色をしています。トンボの仲間は種の判別が難しく、苦労します。



【クロヒカゲ】
タテハチョウ科 黒日陰
今年は初夏からこのチョウがよく見られます。翅に見られる目玉模様は、外敵からの攻撃的を外すためのものと言われています。

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

真夏の釧路湿原では、さすがに鳥たちの囀る声はあまり聞かれなくなりましたが、親鳥を追いかけていく巣立ち雛など、まだまだ夏鳥は湿原内に隠れています。また、夏鳥たちに代わって、カラ類やキツツキ類などの留鳥も少しずつ目立ってくるようになりました。



【ベニマシコ（幼鳥）】
夏鳥 アトリ科 紅猿子
「ピッポ…」という声を発しながら茂みの中に身を隠していました。近くに親鳥もいたようです。もうすぐ彼らも旅立ちの季節です。



【アカゲラ（幼鳥）】 留鳥
キツツキ科 赤啄木鳥
ハンノキ林などで、まだ親離れできていない幼鳥の姿を時折見かけられるようになりました。幼鳥は頭頂部までが赤いのが特徴です。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（7月15日～8月14日）※和名は五十音順 * 外来種

■アカネムグラ■アキノウナギツカミ■イシミカワ■イチゲフウロ■イヌタデ■イヌトウバナ■イワノガリヤス■ウド
■ウマノミツバ■エゾイチゴ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾシロネ■エゾトリカブト■エ
ゾナミキ■エゾノカワヂシャ■エゾノミツモトソウ* ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■オオアワガエリ* ■オ
オダイコンソウ■オオバコ■オオバセンキュウ■オオバタネツケバナ■オオバノヤエムグラ■オオハナウド■オトギリ
ソウ■オニノヤガラ■カタバミ■ガマ■カラフトノダイオウ■キオン■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■
クサフジ■クサヨシ■クルマバナ■コウゾリナ■ゴキツル■コシカギク* ■コメツブウマゴヤシ* ■コハコベ■サギス
ゲ（実）■シオガマギク■シナノキ■シロザ■シロツメクサ* ■セイヨウタンポポ* ■セリ■タカアザミ■タチギボウ
シ■タニソバ■タヌキモ■チシマアザミ■チシマノガリヤス■チドリケマン■ツメクサ■ツリガネニンジン■ツリフネ
ソウ■トウヌマゼリ■トキソウ■ドクゼリ■トモエソウ■ナガバツメクサ■ナズナ■ナンバンハコベ■ヌスビトハギ■
ノハラムラサキ* ■ハシドイ■ハッカ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン* ■ヒヨドリバナ■ヒロハヒルガオ■
ヘラバヒメジョオン* ■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノシバナ■ホソバノヨツバムグラ
■ミズ■ミズオトギリ■ミゾソバ■ミゾホオズキ■ミツバフウロ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ミミナグサ■ムラサ
キツメクサ* ■メマツヨイグサ* ■モウセンゴケ■ヤネタビラコ* ■ヤブジラミ■ヤブマメ■ヤマニガナ■ヤマハギ■
ワタスゲ（実）

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（7月15日～8月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ハリオアマツバメ■トビ■オジロワシ■ハイタカ■ノスリ■フ
クロウ■コゲラ■アカゲラ■ヤマゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■
ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■ヤブサメ■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニュウ■
シマセンニュウ■エゾセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■コムクドリ■クロツグミ■アカハラ■ノゴ
マ■ノビタキ■コサメビタキ■オオルリ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■シメ■イカル■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることは
おやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○『ホタルの週末』7月24日～26日 参加者：70名（3日間合計）

講師：1日目 藤原伸也、2日目 鬼丸和幸（美幌博物館）、3日目 高橋進（環境省）
釧路湿原に生息するヘイケボタルを観察する会を2年ぶりに実施しました。3
日間にわたって行われた今回は、それぞれの日で講師が異なり、参加者は最初
に館内で各講師の個性豊かなレクチャーを受けました。各講師からはヘイケボ
タルの生態や光り方の違い、遊歩道での心構えなどをパワーポイントや紙芝居
で伝えてくださり、参加者らは真剣に耳を傾けていました。レクチャーの後、遊
歩道へと繰り出すと、鶴居軌道上から早速ちらほらとホタルが見られ、歓声が



上がっていました。そして湿原内に入ると、さらに多くのホタルが見られました。講師から解説を受けながら、参加者らは飛び交うホタルを眺めたり、手にホタルを乗せて間近で観察したりと、存分に観察会を楽しみました。今年は特に数多くのホタルが見られ、皆さん満足した表情で夜の釧路湿原を後にしました。

～今年のヘイケボタルについて～

温根内木道周辺に生息するヘイケボタルは、例年だと7月上旬頃から成虫が確認されます。しかし、今年は6月24日の夜に成虫が光っているのが偶然確認され、驚かされました。さらに、今年はその個体数の多さにも驚きました。特に、7月中旬から下旬にかけては、我々職員も初体験と言えるほどのおびただしい数の「光の乱舞」が見られる日もありました。そして調べた限りでは、8月8日までホタルは確認されており、期間にして約1ヶ月半続いたことになります。さて、今年これほどの数が見られた理由は何なのか、期間の長さは今年だけなのか、それとも我々が知らなかっただけで6月にも実は飛んでいたのか・・・まだまだ謎の多いヘイケボタルです。



ハンノキ林を飛ぶヘイケボタルの光跡を重ねた写真

○『温根内周辺の外来植物を探そう』8月2日 参加者：7名 講師：高嶋八千代（VR）

温根内の周辺に見られる外来植物にあえて着目し、それらの起源や環境について理解を深める会を初の試みとして開催しました。講師の高嶋氏からは、まず「外来」「帰化」「史前帰化」などの植物用語の意味や、外来種の何が問題なのか、といったことから説明していただきました。そして今回は、新釧路川右岸堤防道路周辺を外来植物を探しつつ散策を行いました。開始直後から外来植物が続々と見つかり、各種の見分け方のほか、どのように持ち込まれたのかなど、詳しく説明を受けました。また、堤防やその周辺のちょっとした地形や水文環境の違いで、分布する種がまるで異なってくることも実感できました。外来種ばかりに見える箇所でも、意外に勢力を維持しているネジバナなどの在来種も認められ、随所で在来／外来の「せめぎ合い」があることもよくわかりました。



この日は全19種の外来植物が見つかりました。

【この日右岸堤防沿いで見つかった外来植物（五十音順）】 アメリカオニアザミ、アラゲハンゴンソウ、オオアワガエリ、オオアワダチソウ、オランダガラシ、カラフトホソバハコベ、クスダマツメクサ、コヌカグサ、コメツブウマゴヤシ、シロツメクサ、セイヨウノコギリソウ、タチオランダゲンゲ、ナガハグサ、ヒメスイバ、フランスギク、ヘラバヒメジョオン、ムラサキツメクサ、メマツヨイグサ、ヤネタビラコ

☆☆☆☆イベントのご案内（9月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

新型コロナウイルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前に各施設へご確認ください。

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪秋の植物を見に行こう

〔日時〕9月6日（日）10：00～12：00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

秋を迎えた釧路湿原。きれいな花をつけていた植物たちはどうなっているでしょうか。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪秋のキノコ観察会

〔日時〕9月5日（土）10：00～12：00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

～熱中症に気をつけましょう～

暑い日が続いています。木道を散策する際は帽子を被り、適度に休憩を取りながら歩くなど、熱中症にはくれぐれもお気をつけてお楽しみください。



月刊 温根内通信 No. 287

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9：00～17：00（11月～3月は16：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料